
第132回LC研究懇談会

日 時:1999年4月28日(水) 13時~17時

会場:東京理科大学記念講堂(1号館、17階)

[東京都新宿区市谷田町3-21-6、電話:03-3260-4271、交通:JR総武線「飯田橋」駅下車 徒歩4分]

講演主題:生体試料分野における測定体系の標準化とHPLCの役割

講演

1. 講演主題概説 (13:00~13:05)

(千葉大学医学部附属病院)大澤 進

2. 臨床検査における標準化と測定体系 (13:05~13:45)

(筑波大学医療技術短大)桑 克彦

3. レファレンスシステムと標準物質 (13:45~14:25)

(福祉・医療技術振興会)中 甫

4. 測定法の標準化におけるHPLCの役割 1)血清クレアチニン (14:25~14:45)

(千葉大学医学部附属病院)大澤 進

5. 測定法の標準化におけるHPLCの役割 2)ビリルビン (15:00~15:20)

(千葉大学医学部附属病院)吉田 俊彦

6. 測定法の標準化におけるHPLCの役割 3)グリコヘモグロビン (15:20~15:40)

(慶応大学医学部先端医科学研究所)星野 忠夫

7. 質量分析の生体成分への応用 1) GC-MSを用いた尿中有機酸の分析 (15:40~16:00)

((株)エスアールエル研究検査部)宮川 秀則

8. 質量分析の生体成分への応用 2) GC-MSによる尿中ステロイドプロファイル測定法と臨床応用 (16:00~16:20)

(慶応大学医学部附属病院中央臨床検査部)本間 桂子

9. 生体試料分析のためのLC-MSの基礎と応用 (16:20~17:00)

(東京理科大薬学部)中村 洋

参加費(含講演資料集代)

LC研究懇談会会員:1,000円、分析化学会・共催学会会員:2,000円、その他:3,000円(当日受付にてお支払い下さい)、学生は無料。

共催学会等：日本化学会，日本薬学会

カタログ展示

1小間：5,000円（場所スペースは運営委員に一任させていただきます）

懇親会

講演終了後、講演終了後，講師を囲んで立食パーティー形式の懇親会を開催します。（10号館 1階 食堂）会費：1,000円

申込方法

参加希望者は、別紙の参加申込書（[ここをクリックして現れるページ](#)をプリントアウトしてご使用下さい）にご記入のうえ、FAXにより又は郵便によりお申し込み下さい（定員をオーバーした場合のみご連絡します。）

申込先

郵便番号141 東京都品川区西五反田1-26-2 五反田サンハイツ304号
（社）日本分析化学会 液体クロマトグラフィー研究懇談会
[電話：03-5487-2790、FAX：03-3490-3572]

[LC研究懇談会情報ページへ戻る。](#)